

# 市長と語ろう地域懇談会 記録

【日 時】平成28年9月26日（月）午後6時30分～8時40分  
 【会 場】北の峰コミュニティーセンター  
 【対象地域】北の峰町・学田三区・御料  
 【出席者】30人

担当部	意見・要望などの要旨	回答の要旨
総務部	<p>今回の台風で、岩手県のグループホームでは入居者全員が亡くなり、南富良野町では堤防決壊により介護施設が被害を受けた状況にある。富良野の施設でも救援者の受け入れや職員を派遣するなど対応してきた。北の峰地域でどのような災害が起こる可能性があるのか。また、災害の際の避難場所は、北の峰コミセンになると思うが、富良野の施設でも100人以上の利用者がおり、災害時の受け入れ体制を示してほしい。</p> <p>経験上、大きな災害の時は電気と水に困るため、木炭やデンプンを用意しておくと思う。また、老人施設などは水害に備えて、小高い場所に建てていく必要がある。地域においては各町内会長が中心となって災害に備える必要がある。</p>	<p>【総務部長】自らが自分の住んでいる地域の状況や施設の場所などを把握することが重要である。雨の場合は、特に河川の増水状況を確認する必要がある。土砂災害区域は、この地域は2線川、4線川が指定されているが、この地域は傾斜地が多く、山からの水も考えられる。地震の場合は、防災計画などを確認していただきたい。また、要支援者のいる施設には個別に避難準備情報を発信するなど、災害の状況に応じて柔軟に対応したいと考えているので、災害時は市からの情報を確認していただきたい。</p> <p>【市長】施設については、市と連携し密に連絡をとる必要があり、避難場所についても、ホテルなどと連携し、早期に避難できる体制を作るなど、今回の経験を踏まえ対応を考えていきたい。</p> <p>【副市長】今回の台風において、山部地区や麓郷地区の避難場所は災害の状況に応じ、臨機応変に対応している。</p>
建設水道部	<p>麓郷の下の沢橋は東大演習林が作って市道に昇格した経緯があると思うが、今後どのような措置を行っていくのか。下の沢橋の川底の状況は昔とは違う状況である。上流部は改良が終わっているが、下の沢橋付近は、東大演習林が河川改修に同意しなかったと聞いているが実情はどうなのか。</p>	<p>【建設水道部長】道道は回復したが、下の沢橋は、まだ手つかずの状況である。流木などの除去は行ったが、高欄がすべて無くなっている。高欄や前後の道路の復旧を行うが、開通の時期は未定である。改修同意の詳細はわからないが、付近は演習林地で希少価値植物や遺跡的要素もあり、自然保護の観点から改修協議が進まなかったと考える。</p> <p>【市長】北海道河川については、富良野圏域の市町村で河川整備の要請を行っていく。</p>

<p>総務部</p>	<p>今回の南富良野町の災害において、車を持っていない人は災害ボランティアに行く手段がない。市としてボランティアのためのバスを出す予定はないのか。</p>	<p>【市長】全道からボランティアが集まっているが、市職員も派遣している。大きな災害時のボランティアの募集は、主に社会福祉協議会が中心となっており、公用車の使用は状況に応じて関係する団体と協議しながら対応していきたい。</p>
<p>総務部</p>	<p>北の峰地区は、自主防災組織が全地域にない。市が町内会長などと調整し、組織化に取り組んでいく必要があるのではないかと。組織化が困難であれば、それに変わるものを考えていかなければいけない。</p>	<p>【総務部長】組織がないところに対しては、市からアプローチさせてもらい、それぞれの地域で取り組むことができるような組織作りに協力していきたい。災害時は、個人や地域で守っていくことが減災につながっていくものと考えている。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>河川の浚渫は重要であり、市内の中小河川についても予算措置し対応していく必要がある。</p>	<p>【建設水道部長】道路河川の維持活動の中で、河川の浚渫を行っていながら、現在地域要望やパトロールなどにより、必要箇所を把握しているのが実情である。</p>
<p>建設水道部</p>	<p>全国的なことになるが災害に対応するため、市街地の道路側溝の管の太さなどを整備するよう、国などに要請していくことが重要ではないか。</p>	<p>【建設水道部長】道路側溝の管の太さは、国の基準に従い国の補助事業などにより工事を実施しているが、流域面積や雨量強度を勘案し対応していきたい。また、昭和50年代から整備された道路側溝の中には、機能を果たしていない箇所も見受けられるので、計画的に補修を行っている。</p>
<p>経済部</p>	<p>災害においては倒木による被害もあることから、山林の管理も重要であり、対策を講じていく必要がある。</p>	<p>【副市長】山林を伐採する事業者などに対しては、伐採後の管理をきちんとするよう文書で通知していく。</p>
<p>総務部</p>	<p>避難所のあり方の再確認や避難水位の表示は、どうなっているのか。</p>	<p>【総務部長】避難所や避難水位は、洪水ハザードマップで示しているが、実際の避難指示や勧告に際しては、地域の人口や河川の状況により総合的に判断している。また、場合によっては指定された場所に必ず避難するのではなく、自己判断で2階など高いところへ避難して、安全を確保することが大切である。</p>

建設水道部	樋門の体制や機材整備は、どうなっているのか。	【建設水道部長】国の河川の樋門は国が各管理者に委託し、北海道河川は市が北海道からの委託を受け、各箇所を地域の人に委託し、維持管理や樋門の開閉を行っているが、最終的な開閉の判断は河川管理者にある。今回の台風では、排水のためのポンプや発電機が不足している状況があり、今後計画的に整備していくとともに、河川管理者、樋門管理者、市が連携して被害を最小限にするように対応していきたい。
建設水道部	地域で集水桝の清掃・点検をした後に、修繕などを要望したいと考えている。国道の桝（旧ボスコ前）も対応してほしい。	【建設水道部長】集水桝は、地域の要望を含め対応させていただきたい。国道の部分は国と協議させていただきたい。
市民生活部	今年度から出会い総合サポート室ができたが、結婚適齢期の子どもを持つ親たちが集う機会づくりも必要ではないか。	【市民生活部長】現在、結婚したい人の登録や出会いサポーターの登録、婚活イベントを開催している。ご提案の内容については、サポーターの取り組みを広げる形で対応していきたい。 【市長】先日行った婚活イベントでは、8組のカップルが誕生し、こうした機会をつくることが大事であると考え。昨今の隣近所とのつながりを考えると、結婚適齢期の親が会う機会づくりは難しいが、努力はしていきたい。
教育委員会	教育現場における選挙（議会活動など）教育のあり方についてお伺いしたい。また、食べ物に対する教育のあり方についてお伺いしたい。	【教育長】小学5・6年生において、教科書の必須科目として行政や議会、選挙などについて学ぶ時間がある。実際に市議会を傍聴したり、議員の声を聴く機会については今後検討していきたい。また、食育については農業者からの生の声を聴く機会も必要と考える。学校給食については、一定の基準の中で、子どもたちの栄養価を考え、提供し、また、地域の食材を活用した「ふるさと給食」にも取り組んでいる。日常的には、栄養教諭と養護教諭が連携を図りながら、食材や食べ方、栄養バランスなどについて、

<p>保健福祉部</p>	<p>子育て世帯のおむつ券助成や第3子以降に対する支援はありがたいと思うが、協会病院では出産数が制限されており、今後富良野で安心して子どもが産める体制を作る必要があると感じている。</p>	<p>子どもたちは学んでいる。家庭における規則正しい生活についても、PTAと連携を図りながら、家庭教育セミナーや家庭教育ハンドブックなどを通して取り組んでいる。</p> <p>【保健福祉部長】富良野市で出産ができるのは協会病院だけであるが、平成22年4月に産婦人科医がゼロとなり、富良野圏域首長と協会病院と協議により、8月から1人体制、平成23年10月から2人体制とし、安定した体制となっていた。しかし、今年4月に1人退職し1人体制となり、24時間を1人で対応することは困難なことから、旭川厚生病院と北大より産婦人科医を派遣していただきながら対応している状況である。2人体制では、概ね月20人の出産を受け入れていたが、現在は月15人を目途に受け入れている状況であり、それ以上の妊婦については、旭川の病院などを紹介し対応している。道内各地で産婦人科医が慢性的に不足している状況にあり、現状を検証しながら対応を考えていきたい。</p>
<p>経済部</p>	<p>三番館の跡地はどうなるのか。お年寄りが集まってゆっくりできる場所になれば良いと考える。</p>	<p>【建設水道部長】利活用については現在計画段階であり、耐震性や改修費用、ニーズなどの調査を行っており、来年度から工事に着工し、早ければ30年度に利用できる状況になると考えているが、建物の持ち主が民間の方となるので、今後どのような使い方をするのか協議や検討を進め取り組んでいきたい。</p> <p>【市長】新相生通商店街や本通商店街からも要請をいただいているので、通りにも人の流れを呼び込めるよう、今年度中には具体的な内容を示せると考えている。</p>
<p>市民生活部</p>	<p>下御料地区の一部で宅地開発があると聞いているが、将来的には住居表示を考えていく必要があるのではないかと。</p>	<p>【市民生活部長】地域の合意や要望があれば、協議していきたい。</p>

市民生活部	太陽の里が寂れている。遊具が錆たり、テニスコートが使われていないなど、改修や撤去を考えてはどうか。また、キャンプ場の場所も再考が必要ではないか。	【市民生活部長】現在の利用状況を踏まえて、対応を検討していきたい。
建設水道部	鳥沼公園のボートが陸に上がっているのを、使用できるようにしてほしい。	【建設水道部長】ボートが老朽化しており、今年2人がボートから落ちた。ボートの老朽化に加え、監視体制や救命胴衣整備などが不十分であることから、現在検討中である。要望も多数来ているが、管理者としては事故が起きないようにしなければならないので、ご理解いただきたい。
総務部	2線川の砂防ダムが完成した場合、土砂災害区域は外れるのか。	【総務部長】完成後は防災力が高まったということであり、指定区域から外れるものではない。
建設水道部	土砂災害警戒情報が出ていた時、北の峰スキー場駐車場から土のうは積んであったものの水があふれていた。市として状況は確認していたのか。確認していた場合、手立てが必要と思うが。	【建設水道部長】市としても巡回パトロールはしているが、民地までは対応できない。プリンスホテルが自主的に土のうを積んでいる。近隣の住居や道路に影響を及ぼす場合は、プリンスホテル側と必要に応じて協議していく。